

2020年度決算報告をお届けするにあたって

東京神学大学 財務理事 長山信夫（安藤記念教会牧師）

東京神学大学2020年度決算報告を皆様にお届けするにあたり、本学の使命である伝道者養成に変わることなくご支援いただいていることに心から感謝いたします。

本年度も、人件費、教育研究経費、管理経費等のために用いられる資金、第4号基本金を保持し大学の運営を維持することができました。

教会賛助金、後援会献金に加えて、キャンパス整備募金3億円（2017年10月から2022年3月まで）をお願いしてまいりました。2021年3月末現在で2億9400万円に達しています。感謝と共に、引き続きお覚えいただきたくお願い申し上げます。東神大は三鷹市牟礼の地で15年、1966年現在地大沢に移ってすでに55年を経過しています。教員住宅、学生寮の建て替えは必至でした。多くの方々の賛同をいただき、昨年は教員住宅、今年5月には新学生寮が完成し、5月31日にはオンライン併用による竣工式を行うことができました。5～6の個室を備えた11ユニットに全部で64名の神学生が快適に生活し、勉学に励むことができます。全国から集まる神学生を迎える余裕は十分にあります。

特筆すべきは寄附者の同意をいただいた第3号基本金のうち一般基金から4億4857万6453円の第1号基本金への移行です。これにより借入をせずに建築費を賄うことができます。ご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

学生数の減少が依然として深刻です。献身者をお送りいただきたく切に願います。福音伝道の使命に、昼は雲の柱、夜は火の柱として先立ちたもう主に、共に従ってまいりたく思います。